

スポーツミュージアム連携・啓発事業 シンポジウム (2015.10.10)

基調講演「Sport for All とスポーツ博物館」

筑波大学体育専門学群長 真田 久

1. 人類史における多様なスポーツ

近代（国際）スポーツはスポーツ史の一部

Sport の語源

desport, deport (13,4 世紀) : 義務からの気分転換 娯楽

disport sport (15,6 世紀) : 気晴らし 娯楽 戸外の運動

sport (17,8 世紀) : 狩猟

(19 世紀) : 競技的戸外ゲーム

1896 年 第1回近代オリンピック (アテネ)

2. 人の生涯とスポーツ

(子ども) ; 走る、砂遊び、鬼ごっこ

学校体育で様々なスポーツ教材、部活動、スポーツ少年団

(学生) : 運動部活動、競技会 (インカレ、ユニバーシアード等)

(成人) : 地域スポーツクラブ、レクリエーション

(高齢者) : 健康、つながり

3. 人の側から創造するスポーツ

バレーボール → シットティングバレー

クロッケー → ゲートボール

バスケットボール → 車イスバスケットボール

サッカー → ブラインドサッカー

人々の状況によりスポーツのありようは変化

まとめ：人間の側からのスポーツの展示

人類史上多様なスポーツがある

生涯を通じてスポーツは人々に意味がある

人間の側からのスポーツのありようを考え、イノベーションをはかり、創造

↓ ↓

Sport For All の進化と深化